

#情報職採用

和歌山県警察職員

和歌山県警察では、情報職として採用された職員がICTを生かした様々なフィールドで活躍しています。

主な仕事の内容

>>> 企画立案

DX推進を軸にAIなどの先端テクノロジーを活用し、警察業務のデジタル変革をリードします。

組織横断で警察情報基盤のビジョンを描き、要件整理・予算計画を行い、実装フェーズに橋渡しする役割です。

>>> インフラ整備

ハードウェア・ソフトウェアの双方に関する高度な技術を駆使し、テクニカルなオンプレミス基盤を構築・運用します。

セキュリティを徹底、常時可用性と拡張性を確保し、警察業務を支える堅牢かつ高速な情報インフラを管理します。

>>> システム開発

犯罪情報や交通事故情報を分析するシステムなどをオンプレミスで整備し、現場のニーズに応えます。

業務担当者との協議を重ね、要件定義からテスト・導入支援まで一貫して実施。迅速かつ正確なシステムを構築し、捜査・事故対策を支援します。

先輩からのメッセージ #1



K 技師（係長）

令和 2 年度採用

経歴

- ・ 大学卒業後、民間企業で勤務
- ・ 警察職員として採用

和歌山県警察の情報職の仕事は、システム開発や情報インフラの整備を通じて、地域の安心・安全を支える警察活動に貢献ができる仕事です。

民間経験の有無にかかわらず、自身のITスキルを活かして地域に貢献したいという方は、ぜひ一緒に働きましょう。

1日の仕事の流れ

9:00	12:00	13:00	17:45
・ 出勤 ・ サメール ・ パル点 ・ 確認 ・ 検認	・ 休憩	・ 仕様書 ・ 打ち ・ 合わせ ・ 作成	・ 機器 ・ 設定 ・ 問い合わせ ・ 対応 ・ 退勤



主な仕事の内容

私は現在、和歌山県の警察本部と警察署等を結ぶ通信ネットワークや職員が日常的に利用する端末、それらを管理するためのサーバ等というような県警察の情報インフラの整備・運用管理に関する業務を担当しています。

昨年度は、部内インフラ機器の大規模更新作業において、契約手続きから委託先との調整、部内の関係所属との連携まで一貫して担当しました。ネットワーク機器やサーバ更新に伴い、要件整理やスケジュール調整、作業内容の確認を行い、円滑な作業実施を推進しました。更新にあたっては、既存環境の課題を踏まえた構成の見直しや設定方針の整理を行い、運用負荷の軽減と安定性の向上を図りました。その結果、職員が利用する業務システムの動作安定化や接続までの時間短縮を実現し、業務全体の効率化に貢献しています。

一方で委託先や社内関係部署との調整には難しさもあり、円滑に進めるためにはコミュニケーション能力が求められると感じていますが、そうした点も含めて本業務のやりがいを感じています。

和歌山県警察
公式アカウント
Instagram



先輩からのメッセージ #2

Y 技師（主任）

令和3年度採用

経歴

- ・大学卒業後、民間企業で勤務
- ・警察職員として採用

情報職の採用となると、情報技術に関する知識や経験が必要だと思われるかもしれません。

しかし、実務未経験の方でもOJTや民間企業での技術研修に加えて、警察組織内の技術研修など学ぶための環境は充実しています。

プログラミングやDXといった情報技術に興味がある方は是非チャレンジしてください。

情報技術を通じて一緒に和歌山県警察を盛り上げていきましょう。



1日の仕事の流れ

9:00	12:00	13:00	17:45
・出勤 ・メール確認 ・システム点検	・打合せ	・システム開発	・進捗確認 ・退勤



主な仕事の内容

私は、複数のシステムと連携する基幹システムの開発という、県警におけるDX推進の中核プロジェクトを任されています。このシステムは、警察職員の情報を一元的に管理し、他システムともデータ連携を行う重要なシステムであることから責任が大きく、プレッシャーを感じる場面もありましたが、重要な役割を任せられたことで、技術力や課題解決能力の向上といった自身の成長につながる貴重な経験ができました。

また、近年は警察組織全体を挙げてDXによる業務改革に取り組んでいることから、業務効率化を目的とした先端技術の導入やシステム開発・改修といった仕事も担っています。

情報技術を活かしたDXの推進に取り組み、警察組織の業務効率化に貢献することができるこの仕事にはとてもやりがいを感じています。

和歌山県警察
公式アカウント
YouTube



求めるスキル

第一次試験に合格する知識があれば大丈夫です。資格、経験は問いません。ぜひ、一緒にやってみましょう。

採用後は、OJTや民間研修のほか、東京都府中市にある警察大学校附属情報通信学校や大阪府堺市北区にある近畿管区警察学校で研修を受けるなど、定期的にスキルアップの機会が設けられています。

採用試験の受験を検討している皆さんへ

DXの推進は、県警察においても重要な課題と位置付けており、DXを一層推し進めるため、令和7年4月、情報管理課にDX推進係を新設し、体制の強化を図りました。

県警察の業務は多岐にわたり、警察業務におけるDXの推進には、培ってきた既存の知識だけでなく、新たな発想や考え方が必要となります。この新たな発想や考え方こそが、警察業務のイノベーションを生む大きな要素となります。そのためには、これまでの業務の流れ、風習や習慣に縛られない、新たな風となる人材を組織に取り入れて活性させていくことが必要です。

失敗を恐れず、意欲ある人からの応募をお待ちしています。

おわりに

私たちICT部門の職員も警察組織の一部です。もちろんICTに関する仕事メインですが、時には、他の警察部門の応援要請に応えることがあります。これは民間では経験できないことであり、私たちICT部門の職員も県民の安心・安全に貢献する活動を行います。

興味を持っていただけましたか？給与、福利厚生、ワークライフバランス、和歌山の住みやすさについても重要な関心事項だと思います。

県警ホームページ(右のQRコード又は以下のURL <https://www.police.pref.wakayama.lg.jp/recruit/>)から、採用案内パンフレットをご覧ください。

